

「日本海溝・千島海溝沿いで想定される最大クラス
の地震と津波」についての市民説明会

鯨ヶ崎公民館

令和2年10月21日

宮古市役所危機管理課



目次

- 1 副市長挨拶
- 2 テレビのニュース報道を視聴（4月21日、9月11日）
- 3 これまでの経緯
- 4 内閣府の検討結果
- 5 検討結果の分析
- 6 浸水域（鍬ヶ崎地区、その他の地区）
- 7 津波避難要領の変更（鍬ヶ崎地区、その他の地区）
- 8 津波避難時の新型コロナウイルス感染症対策
- 9 今後の予定



1 副市長挨撈

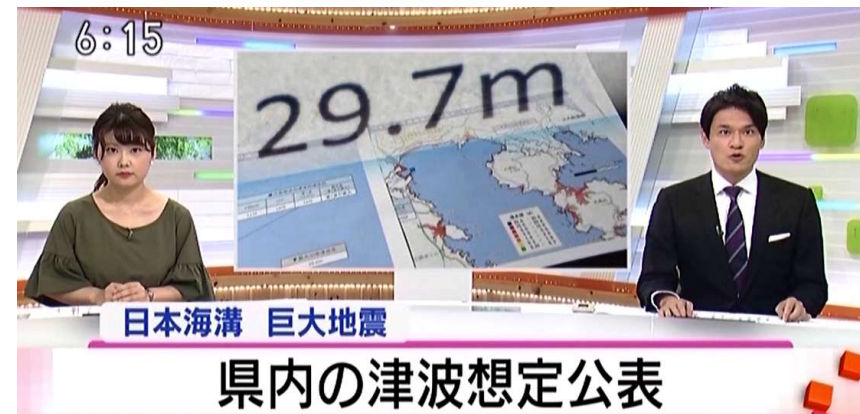


2 テレビのニュース報道を視聴

- NHK「おぼんですいわて」
(4月21日)



- NHK「おぼんですいわて」
(9月11日)





3 これまでの経緯

平成27年2月 内閣府は、日本海溝・千島海溝沿いの海溝型地震に関し検討を開始

5年間研究

令和2年3月30日 内閣府が、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討結果の公表資料を提示、自治体の了解を求める。

(浸水エリアの詳細、防潮堤等の効果、津波到達時間等のデータが不足。)

令和2年4月21日 内閣府が、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討結果を公表
(岩手県の浸水想定を除く。)

複数回にわたり、詳細なデータの提供を依頼、宮古市の特性を含め概要を把握

令和2年9月11日 内閣府が、防潮堤等が破堤しない場合の参考資料も加えて、岩手県の浸水想定を公表

4 内閣府の検討結果

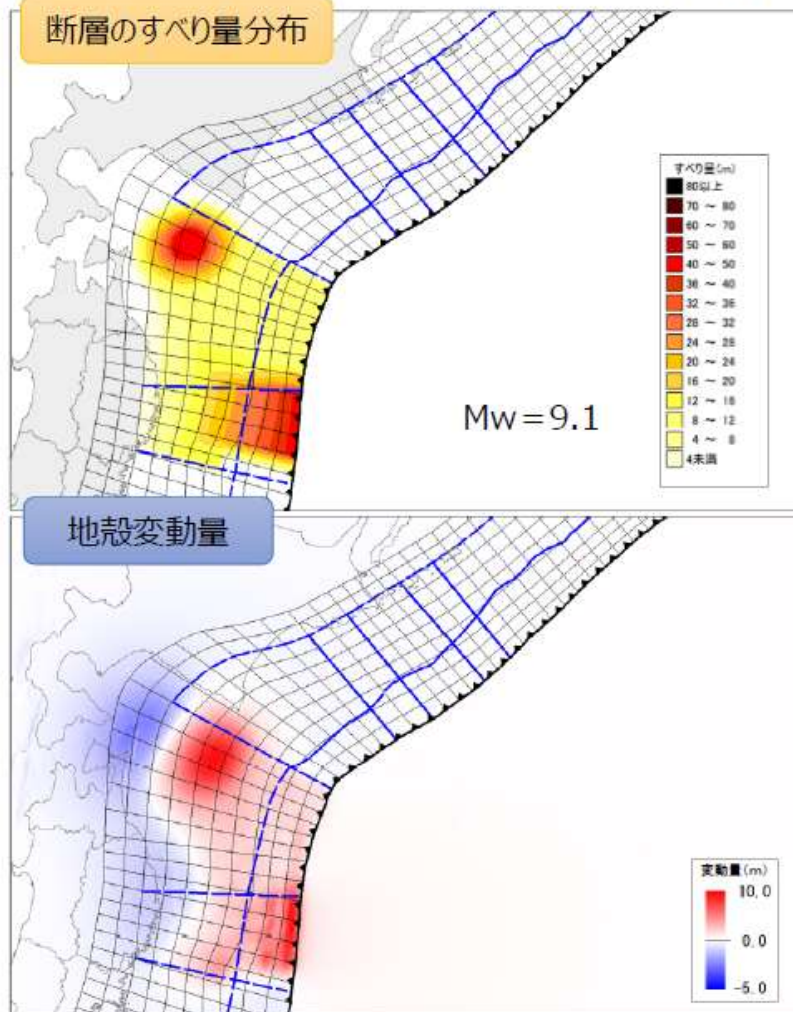
- 最大クラスの津波断層モデル
- 想定される沿岸での津波の高さ、浸水域
- 震度分布



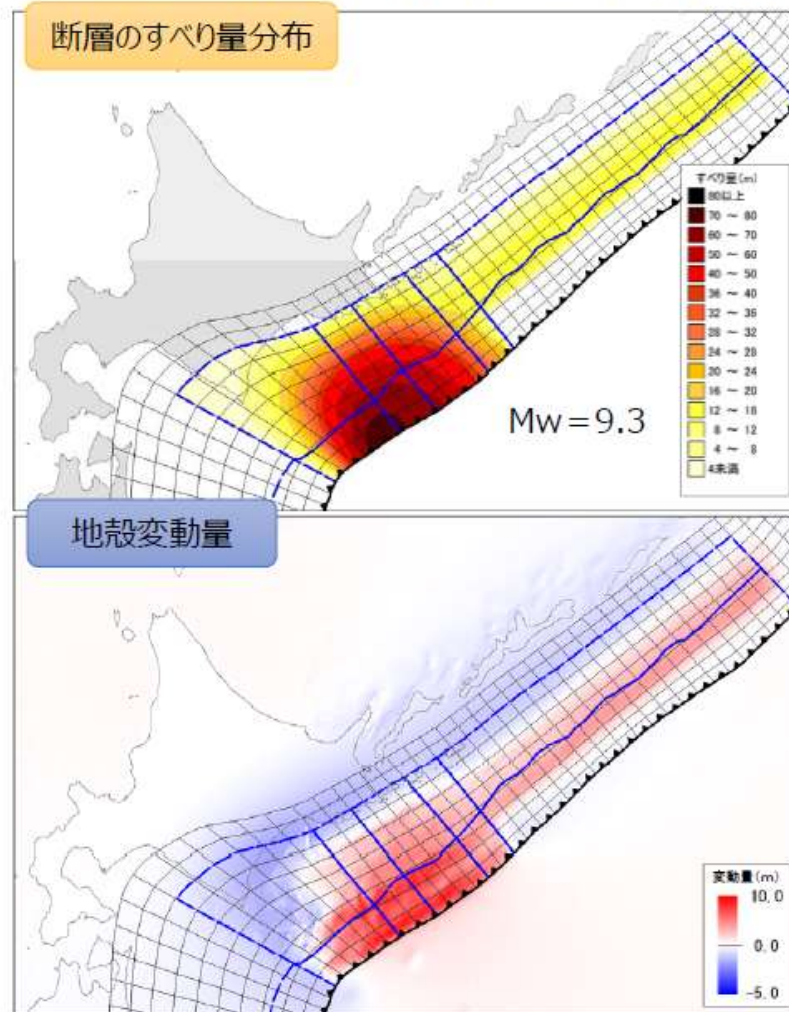
最大クラスの津波断層モデル

○津波堆積物などのデータを用いて、これらを説明するような津波断層モデルを推定し検討

【①日本海溝（三陸・日高沖）モデル】

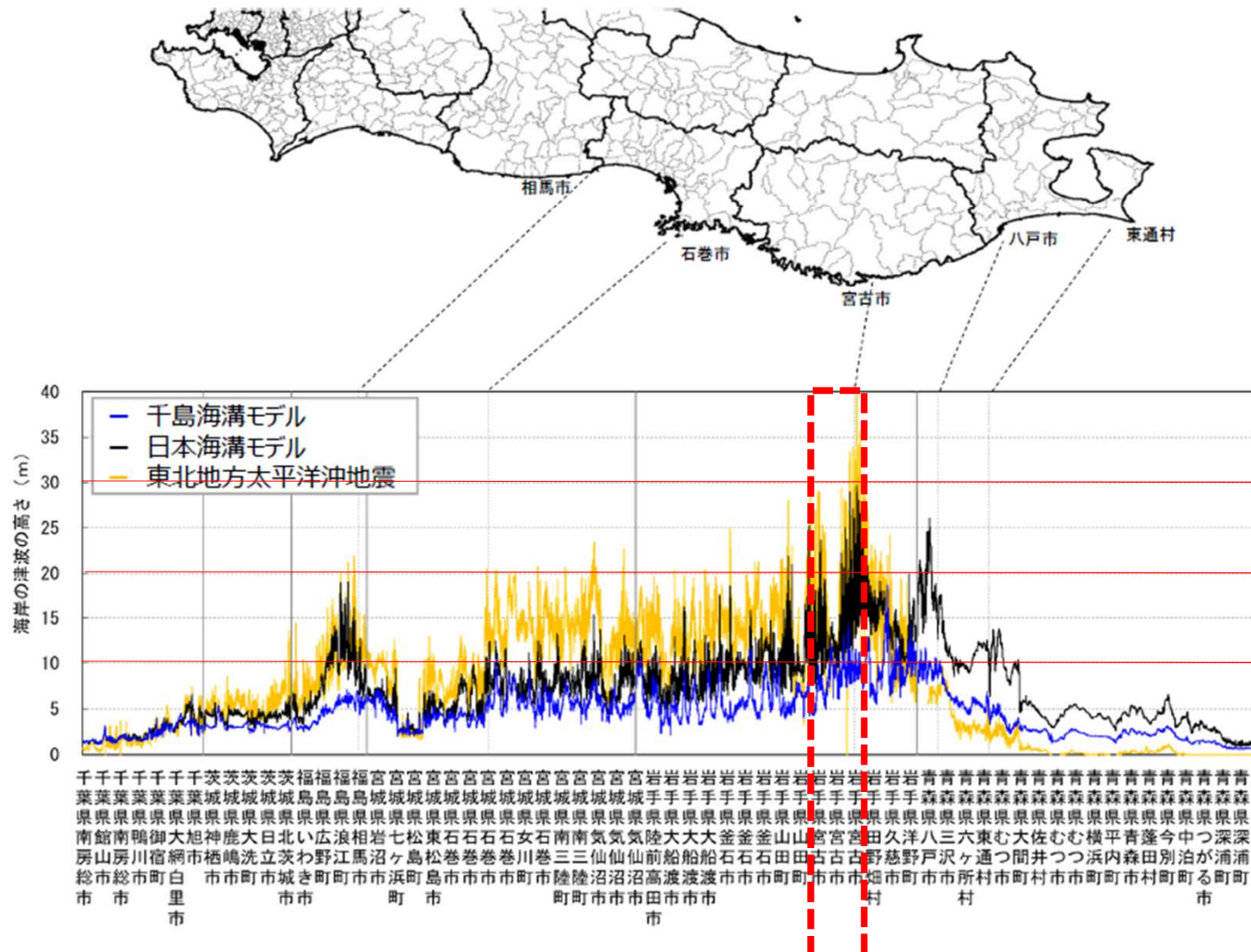


【②千島海溝（十勝・根室沖）モデル】

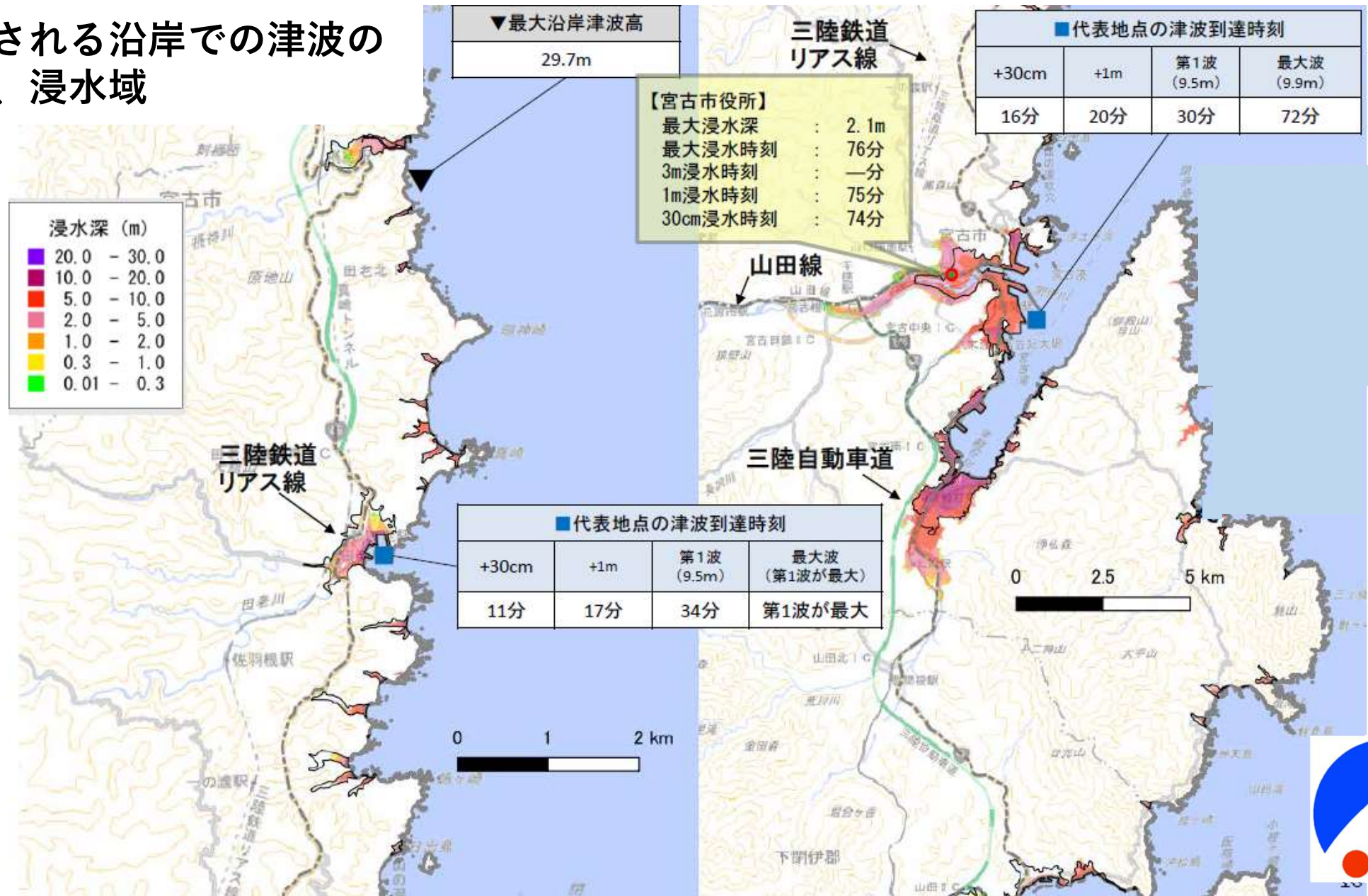


想定される沿岸での津波の高さ①（青森県以南）

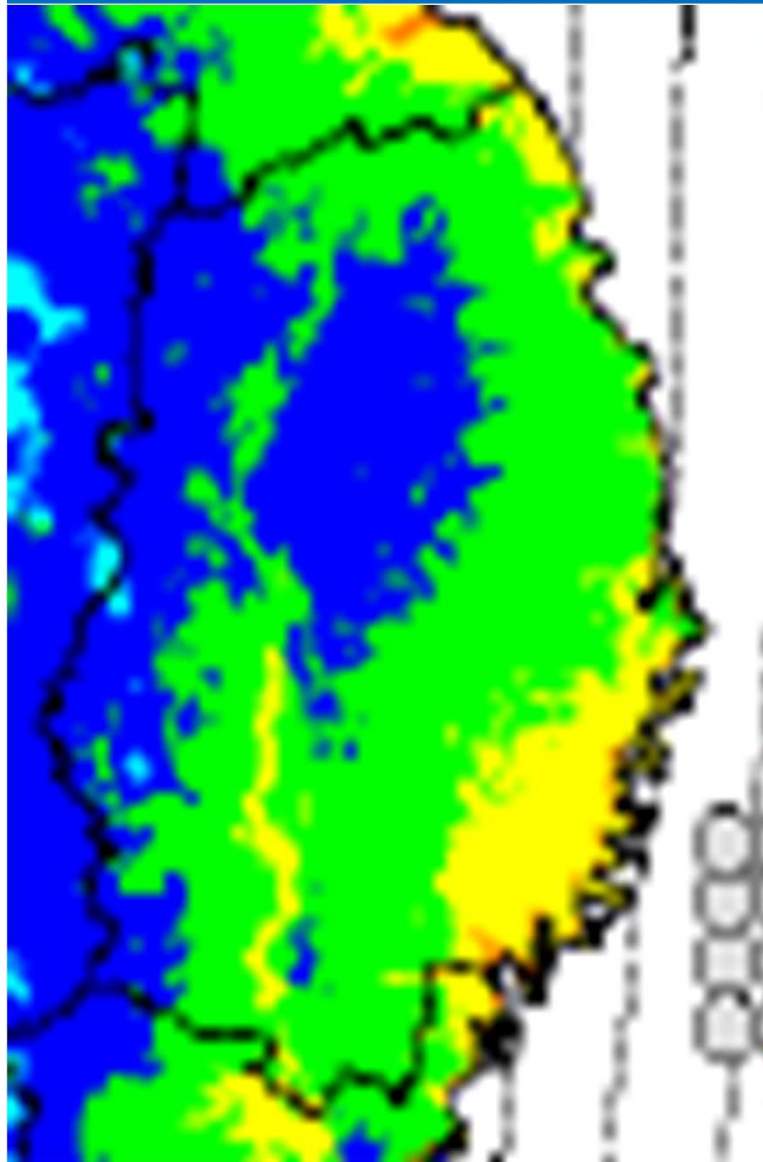
○検討した津波断層モデルをもとに、津波シミュレーションを実施し、沿岸での津波の高さや浸水範囲を推計



想定される沿岸での津波の高さ、浸水域

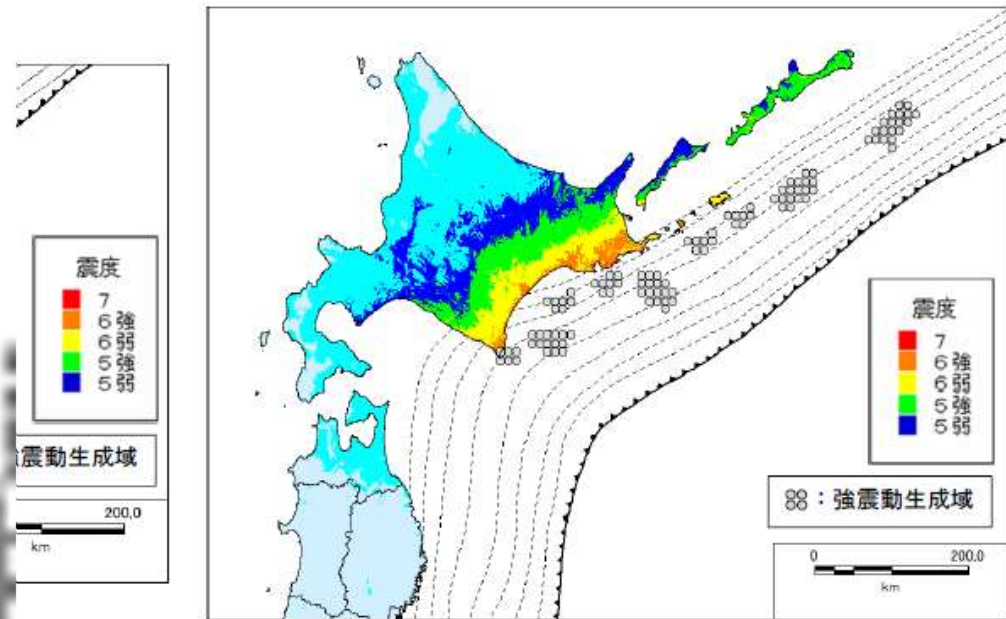


強震断層モデルの強震動生成域の分布と震度分布



いて、過去の地震や地震活動の状況を参考に、強い揺れの発生源

【②千島海溝（十勝・根室沖）モデル】



あるが、プレート内部や地殻内の浅い場所（活断層）で発生した地震の方が
する必要がある。



5 検討結果の分析

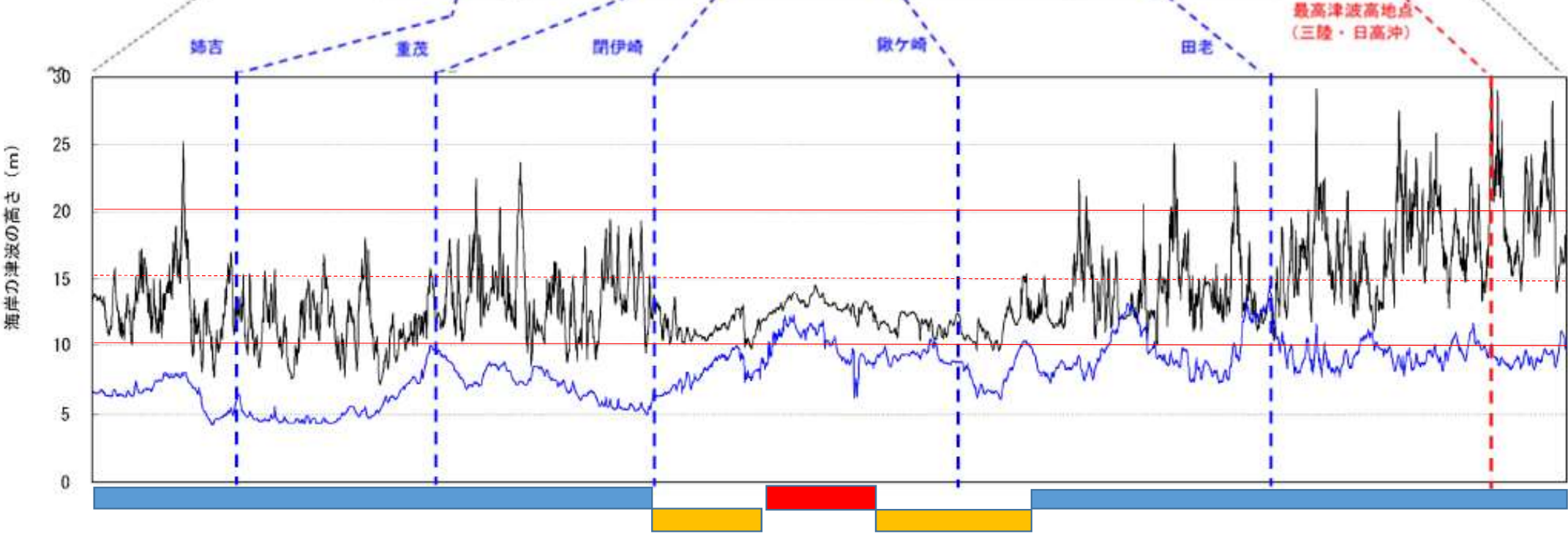
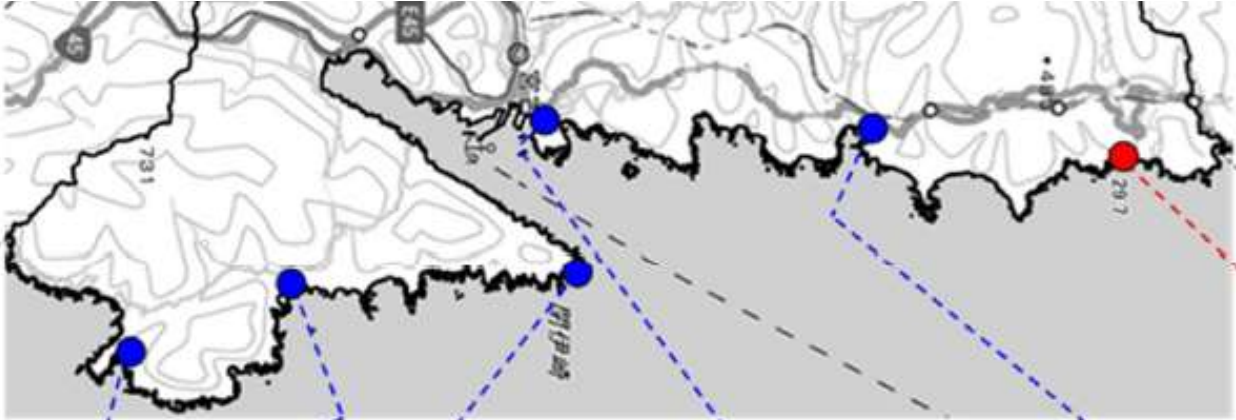
- 各地区の特性
- 最大沿岸津波高 29.7 m について
- 津波到達時間について





各地区の特性について

- 東日本大震災同規模又は以下
- 防潮堤等の破堤有無の影響大
- 東日本大震災以上



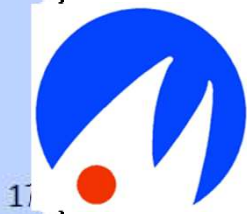
田老掬待地区
浸水域は東日本津波より小さい



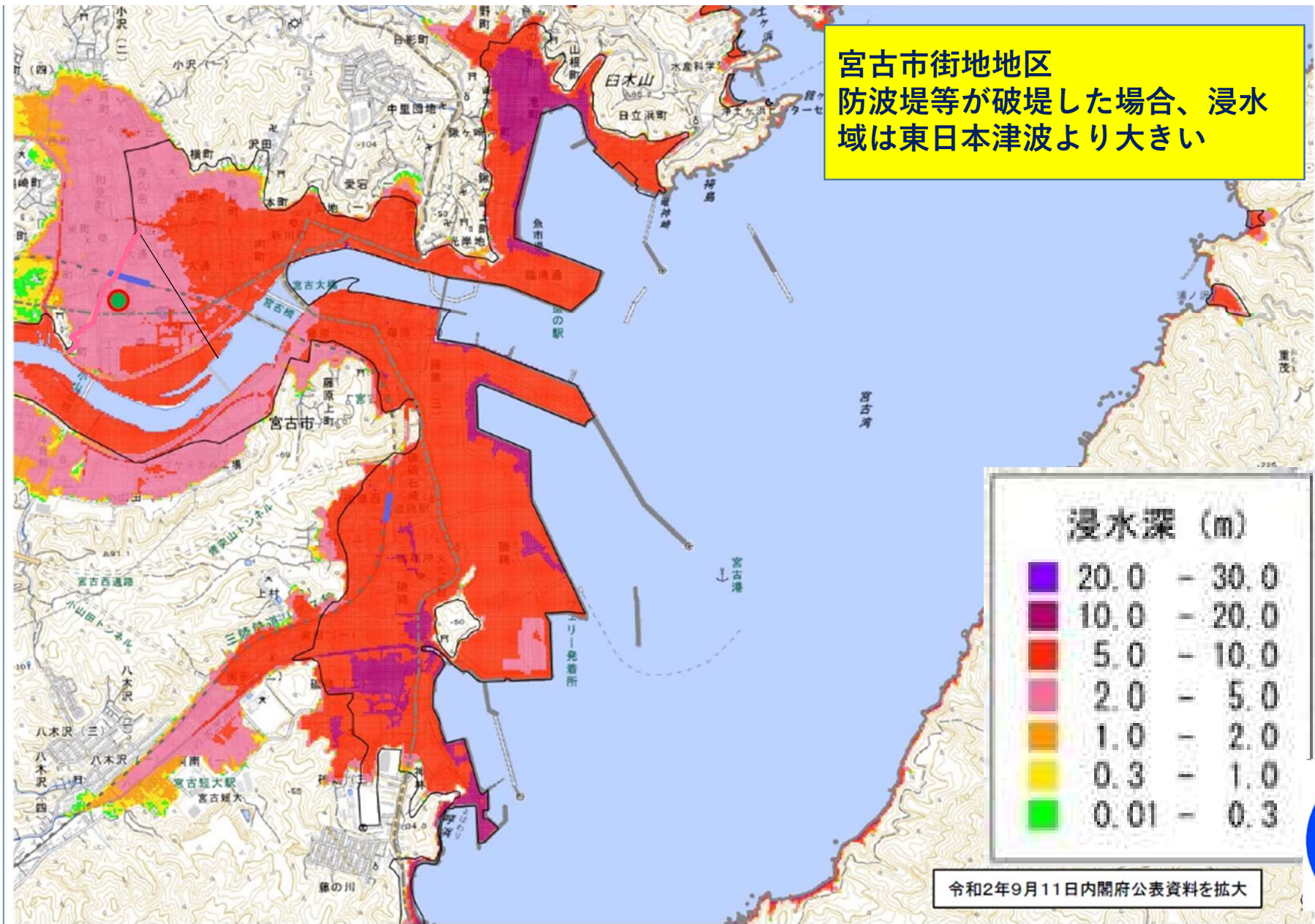
重茂千鷄石浜地区
浸水域は東日本津波より小さい



令和2年9月11日内閣府公表資料を拡大

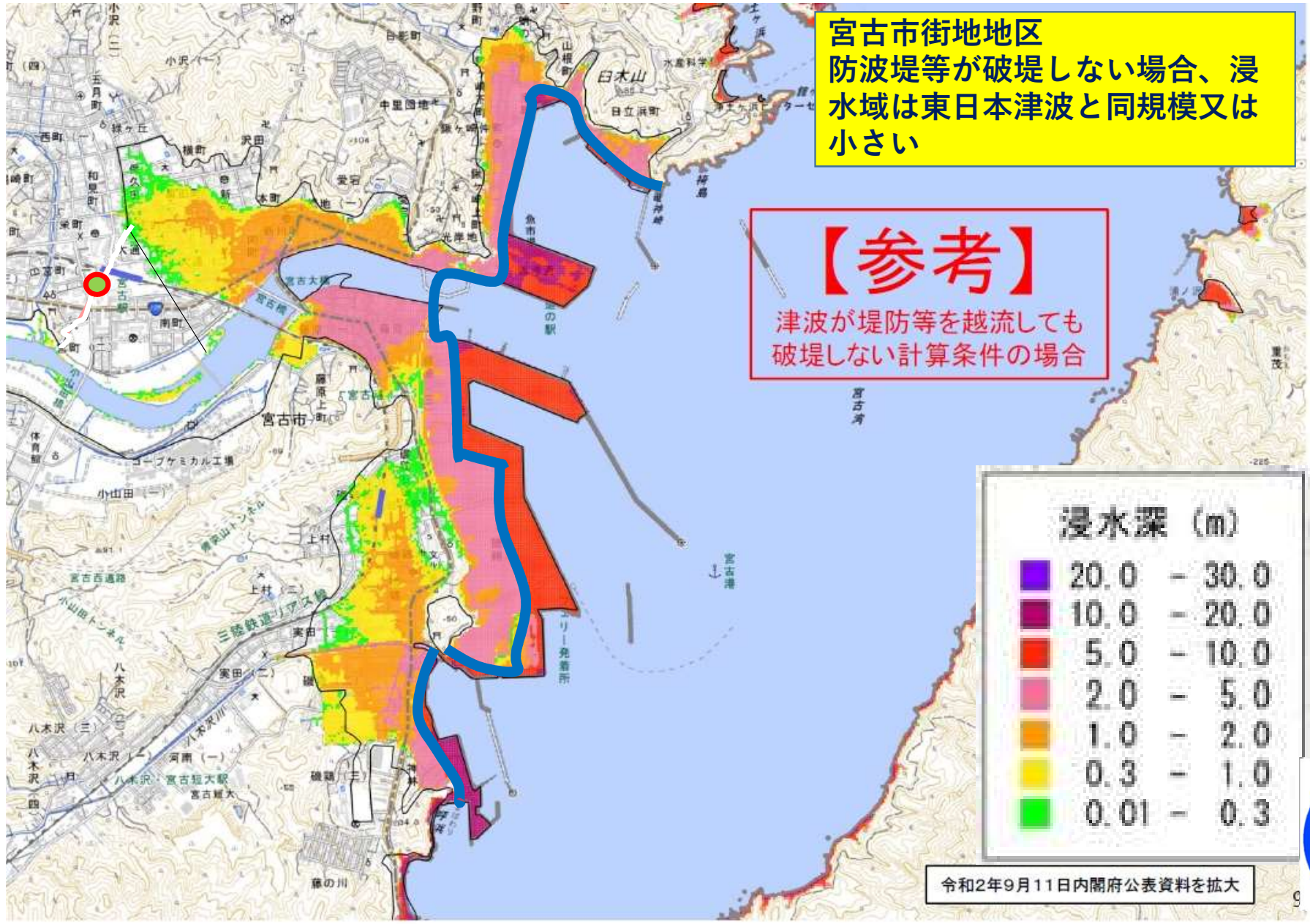


宮古市街地地区
防波堤等が破堤した場合、浸水域は東日本津波より大きい



令和2年9月11日内閣府公表資料を拡大





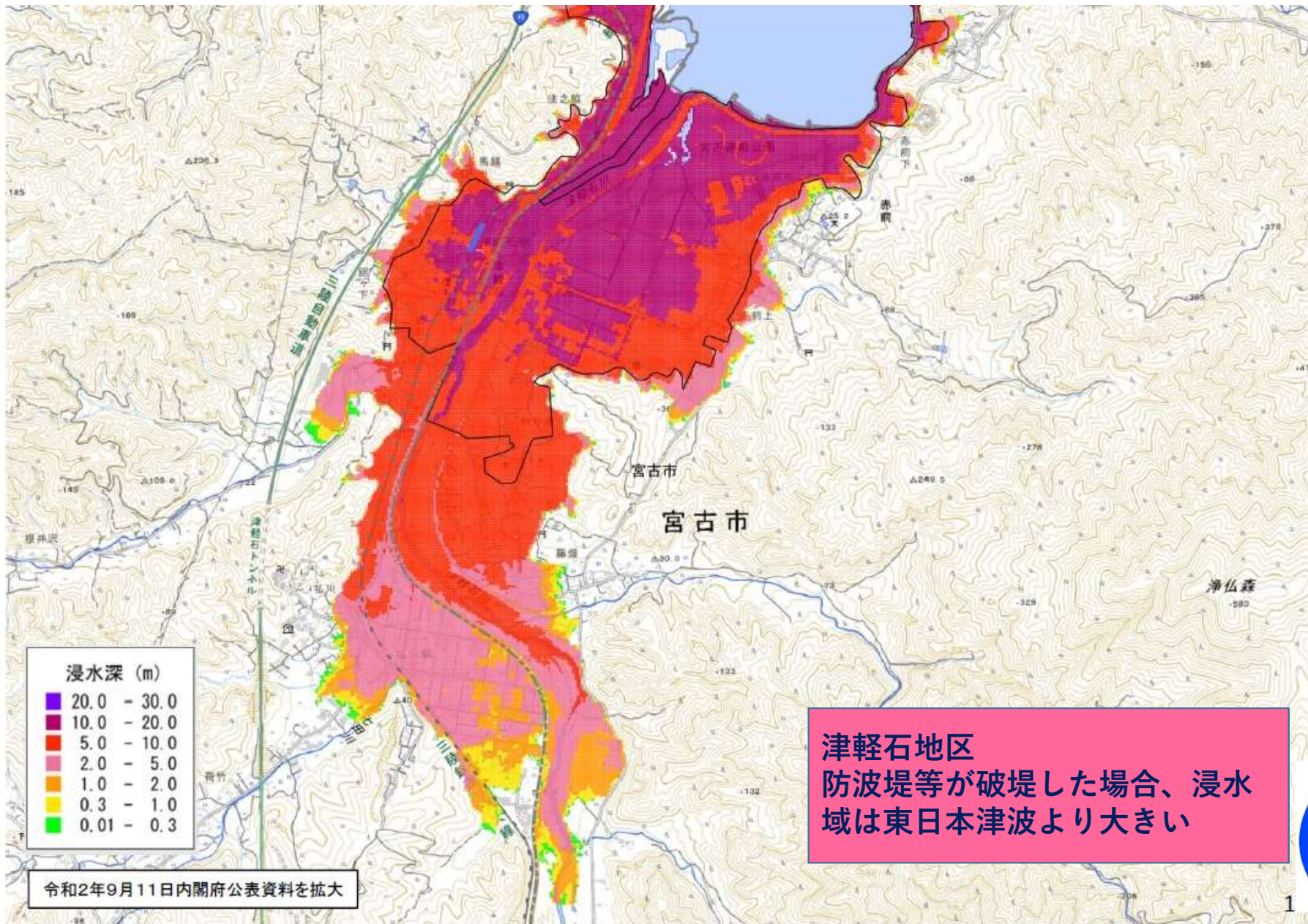
宮古市街地地区
防波堤等が破堤しない場合、浸水域は東日本津波と同規模又は小さい

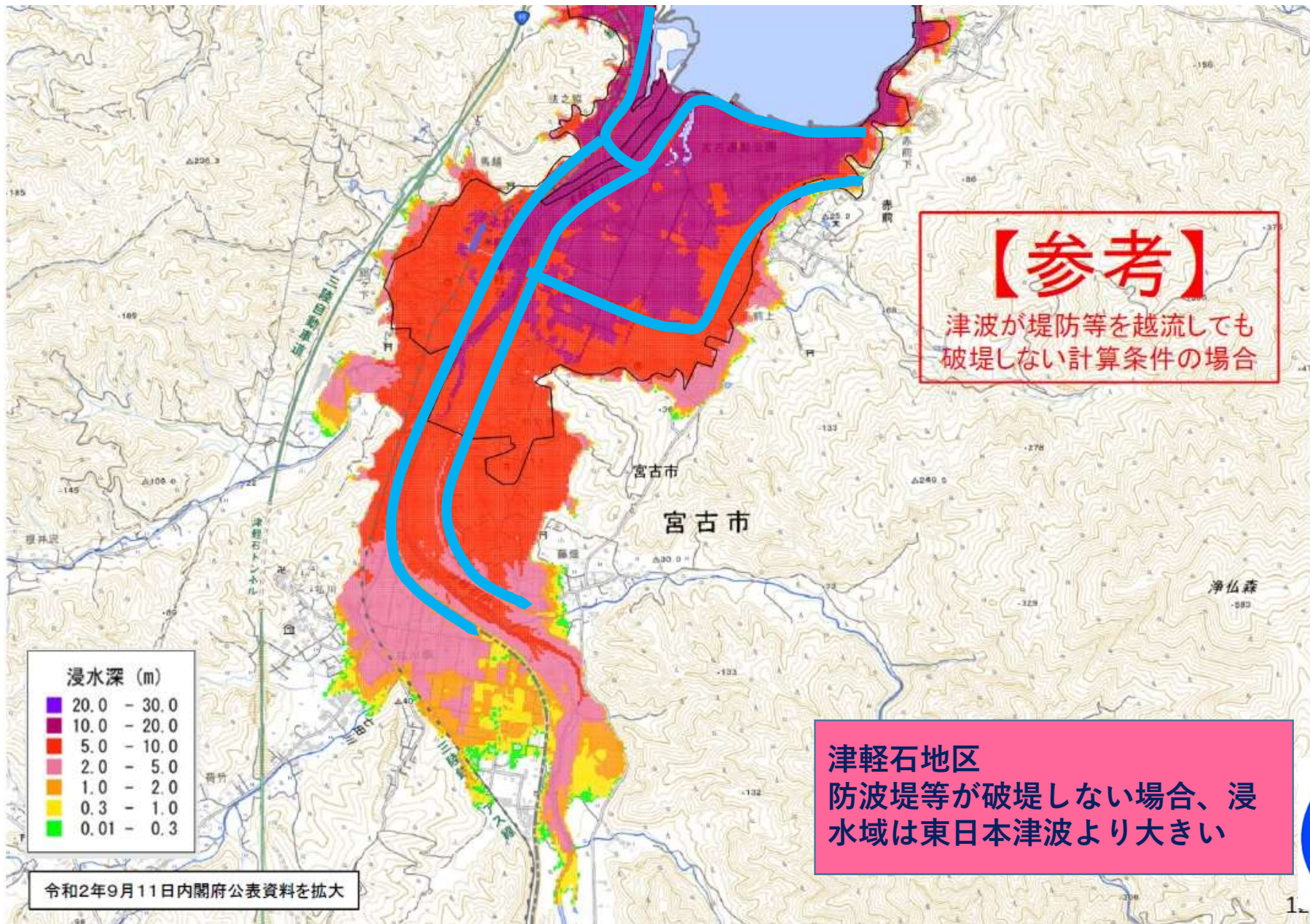
【参考】
津波が堤防等を越流しても破堤しない計算条件の場合

浸水深 (m)	
20.0 - 30.0	20.0 - 30.0
10.0 - 20.0	10.0 - 20.0
5.0 - 10.0	5.0 - 10.0
2.0 - 5.0	2.0 - 5.0
1.0 - 2.0	1.0 - 2.0
0.3 - 1.0	0.3 - 1.0
0.01 - 0.3	0.01 - 0.3

令和2年9月11日内閣府公表資料を拡大



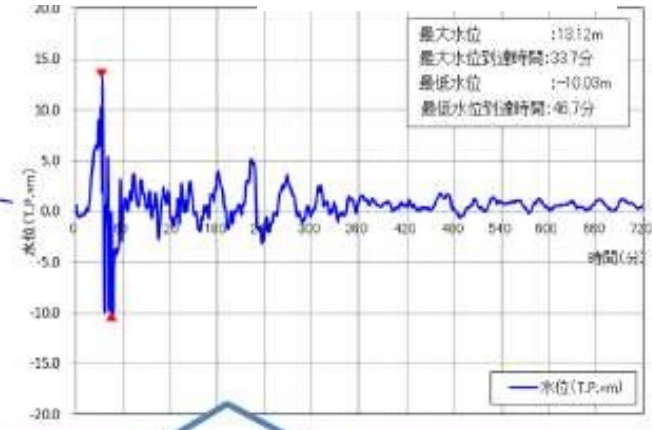
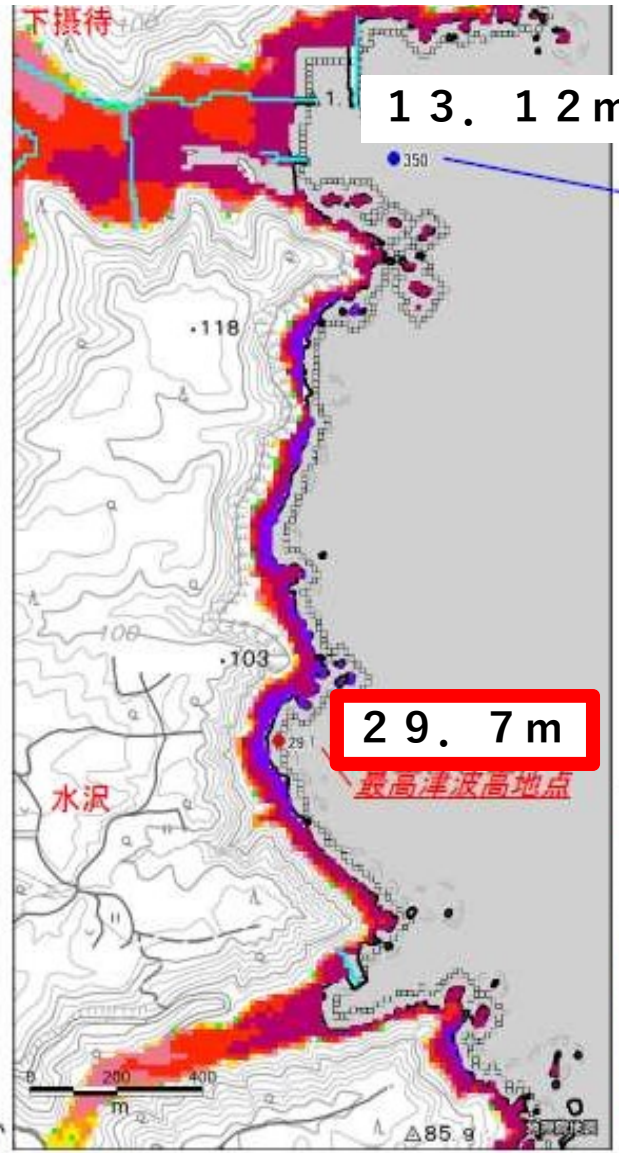
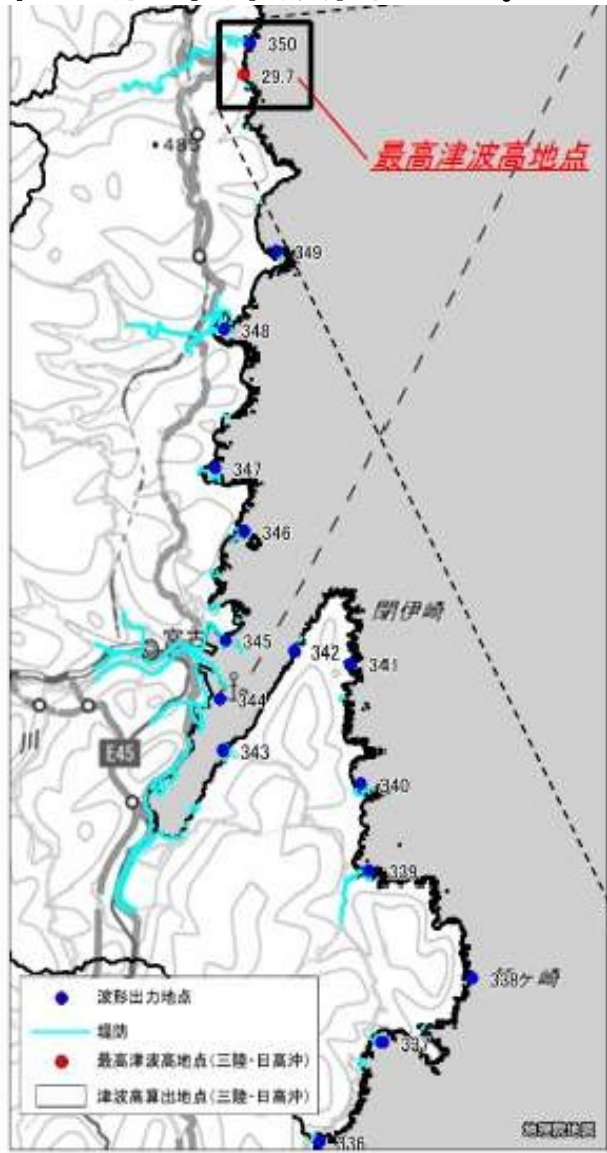




浸水深 (m)	
■	20.0 - 30.0
■	10.0 - 20.0
■	5.0 - 10.0
■	2.0 - 5.0
■	1.0 - 2.0
■	0.3 - 1.0
■	0.01 - 0.3



最大沿岸津波高 29.7 m について



29.7mの場所そのものではありませんが、近くの場合での波形になります。この場所での最高水位に達するのが約34分なので、29.7mの地点もおおよそ同程度と考えられます

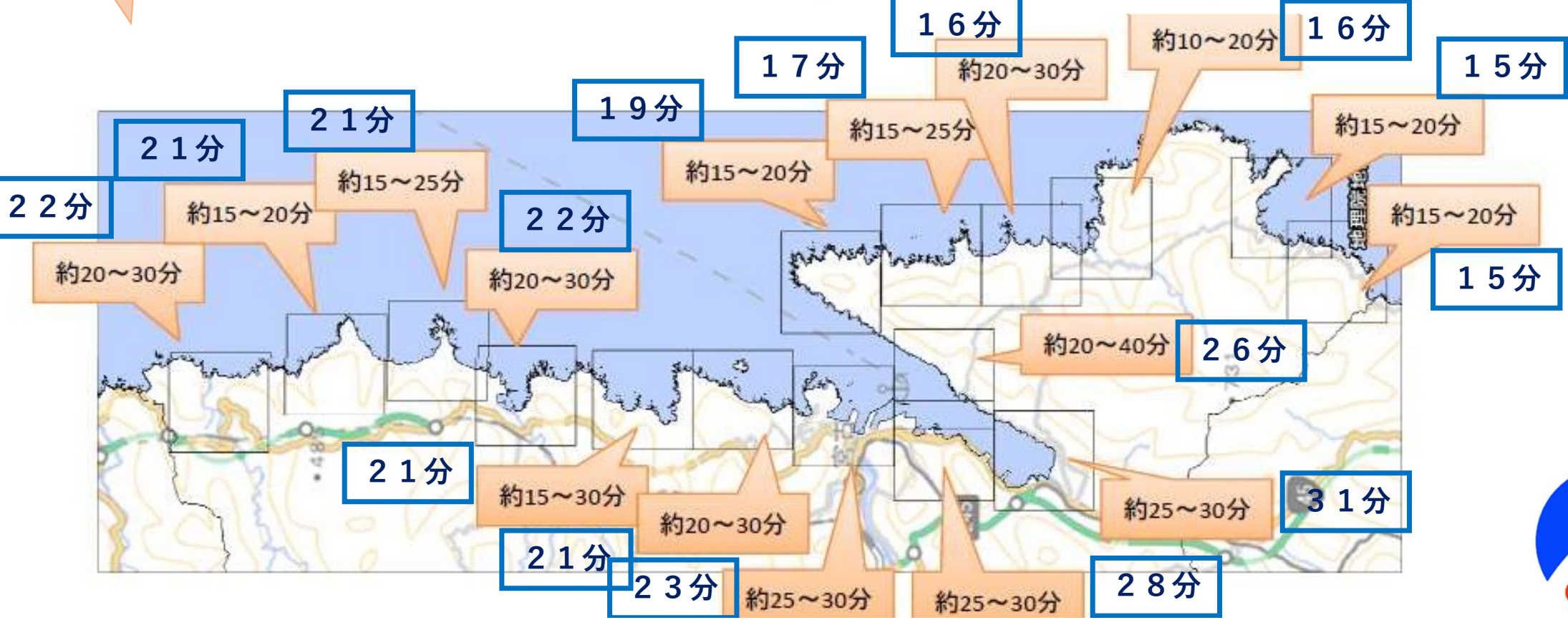


各津波到達時間について

22分 現ハザードマップ、津波の予測影響開始時間

約20~30分 津波の影響（30cm）時間

+30cm	+1m	第1波 (6.3m)	最大波 (9.5m)
9分	11分	22分	40分

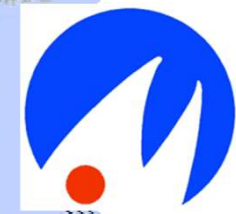
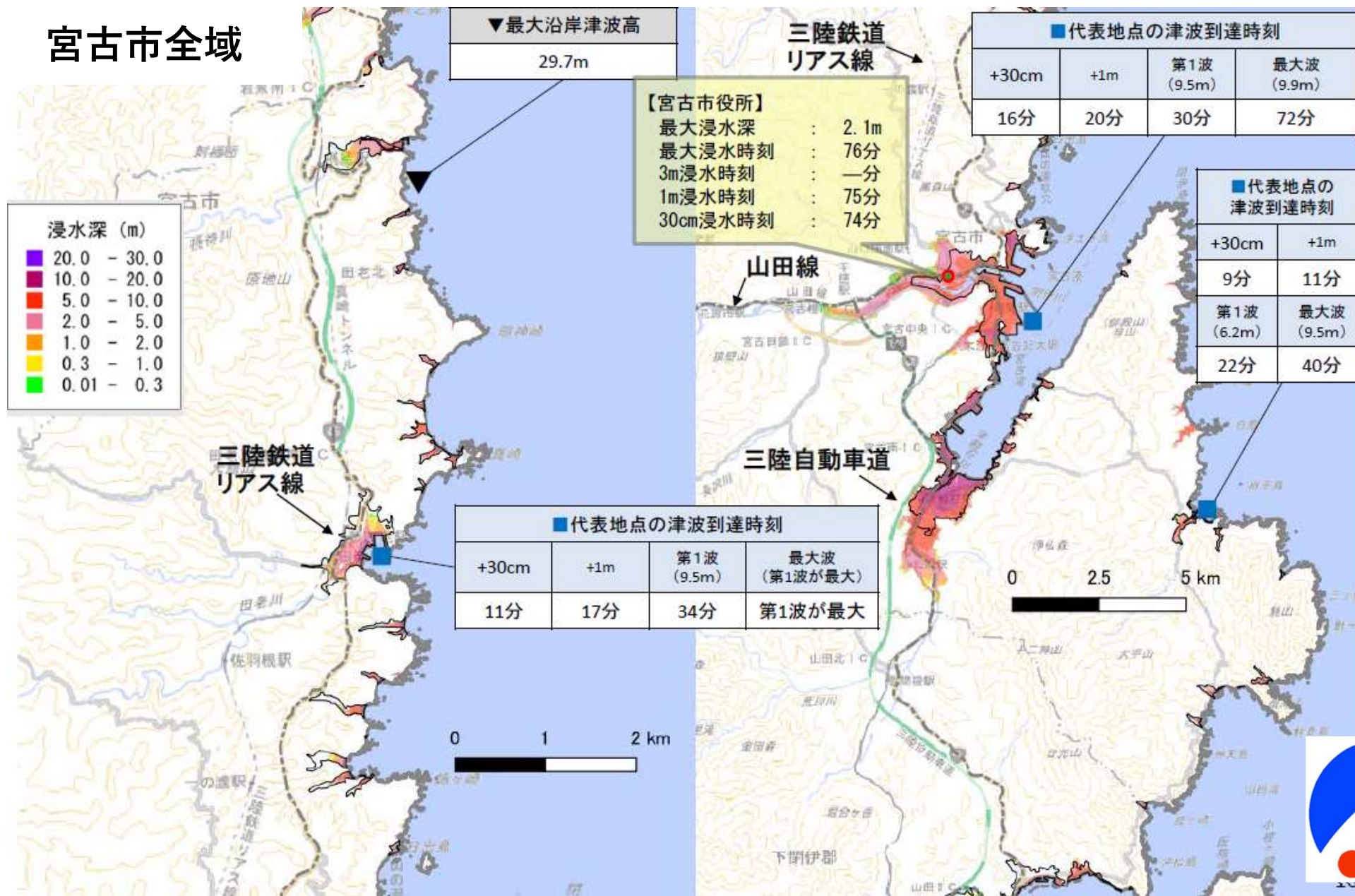


6 浸水域（鍬ヶ崎地区、その他の地区）

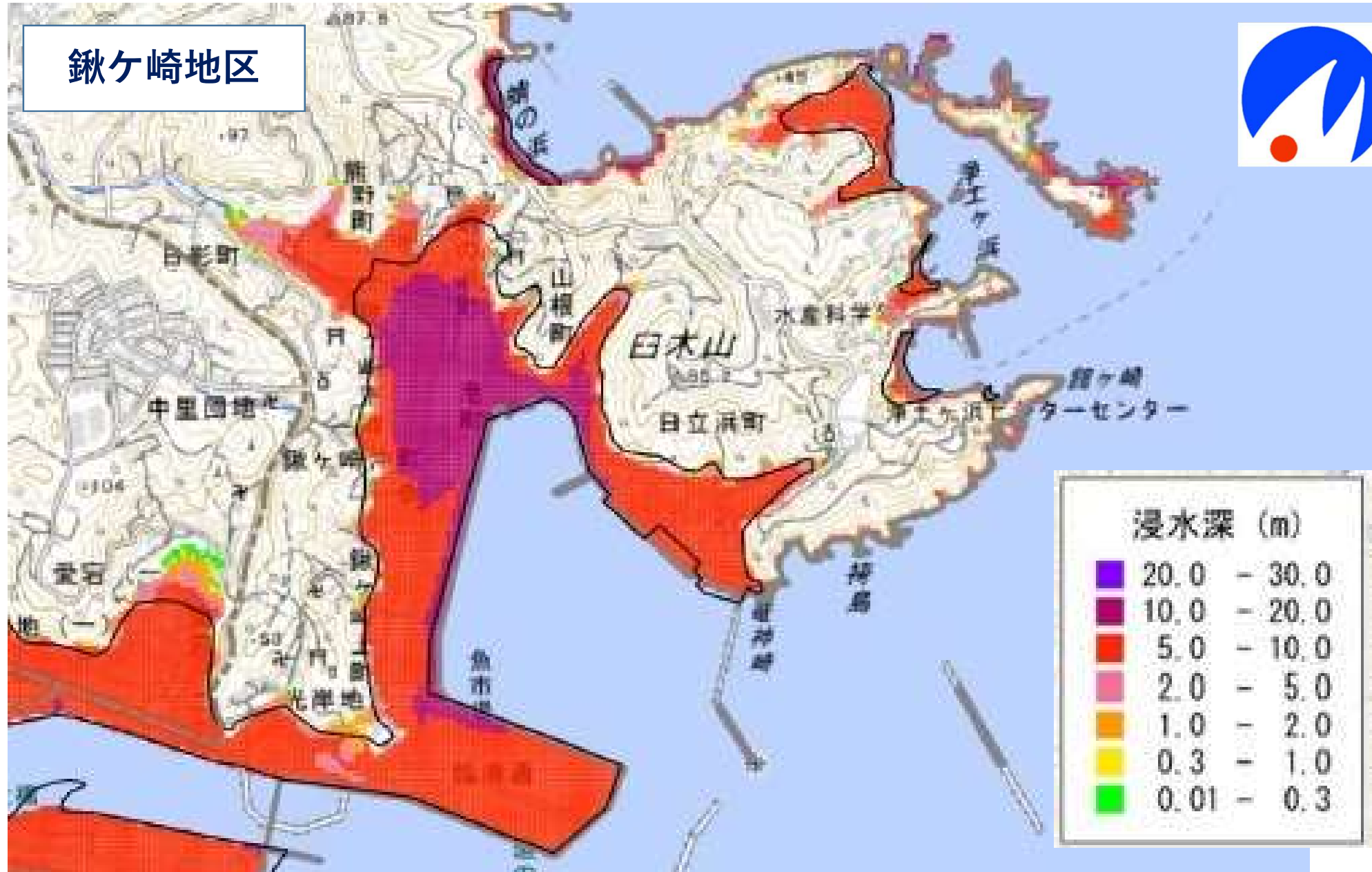
- 宮古市全域
- 鍬ヶ崎地区
- 鍬ヶ崎地区（防潮堤が破壊されなかった場合）
- 宮古市市街地
- 宮古市市街地（防潮堤が破壊されなかった場合）
- 浸水想定のおえ方



宮古市全域



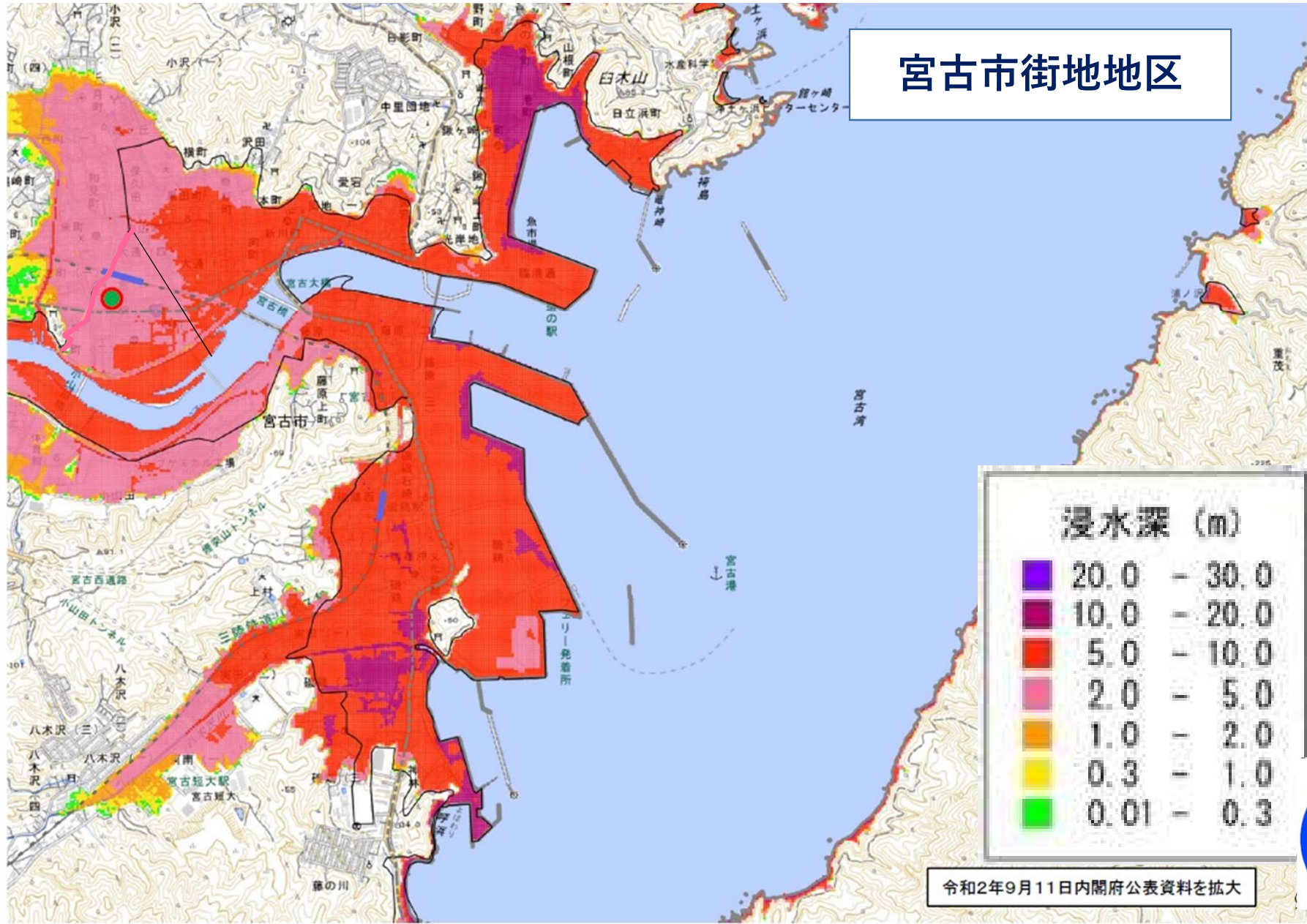
鍬ヶ崎地区



鍬ヶ崎地区

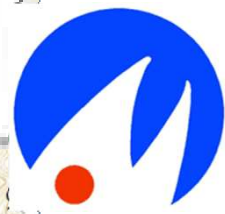


宮古市街地地区



浸水深 (m)	
20.0 - 30.0	20.0 - 30.0
10.0 - 20.0	10.0 - 20.0
5.0 - 10.0	5.0 - 10.0
2.0 - 5.0	2.0 - 5.0
1.0 - 2.0	1.0 - 2.0
0.3 - 1.0	0.3 - 1.0
0.01 - 0.3	0.01 - 0.3

令和2年9月11日内閣府公表資料を拡大



宮古市街地地区

【参考】

津波が堤防等を越流しても
破堤しない計算条件の場合

浸水深 (m)

■	20.0	-	30.0
■	10.0	-	20.0
■	5.0	-	10.0
■	2.0	-	5.0
■	1.0	-	2.0
■	0.3	-	1.0
■	0.01	-	0.3

令和2年9月11日内閣府公表資料を拡大



浸水想定のお考え方

内閣府の浸水域データ

- ・ 前提条件
大潮・満潮
防潮堤は破堤

津波高+の要因

データの誤差
(想定外)

津波高-の要因

- ・ データの誤差
- ・ 小潮
- ・ 干潮
- ・ 防潮堤等が破堤しない

津波高に影響する他の要因

- ・ 地震の影響
- ・ 水門陸閘の閉鎖状況

最悪の浸水想定に対し避難

命を守る

浸水域より5m高いところ
へ避難

※偶発的な要因に命を預けない

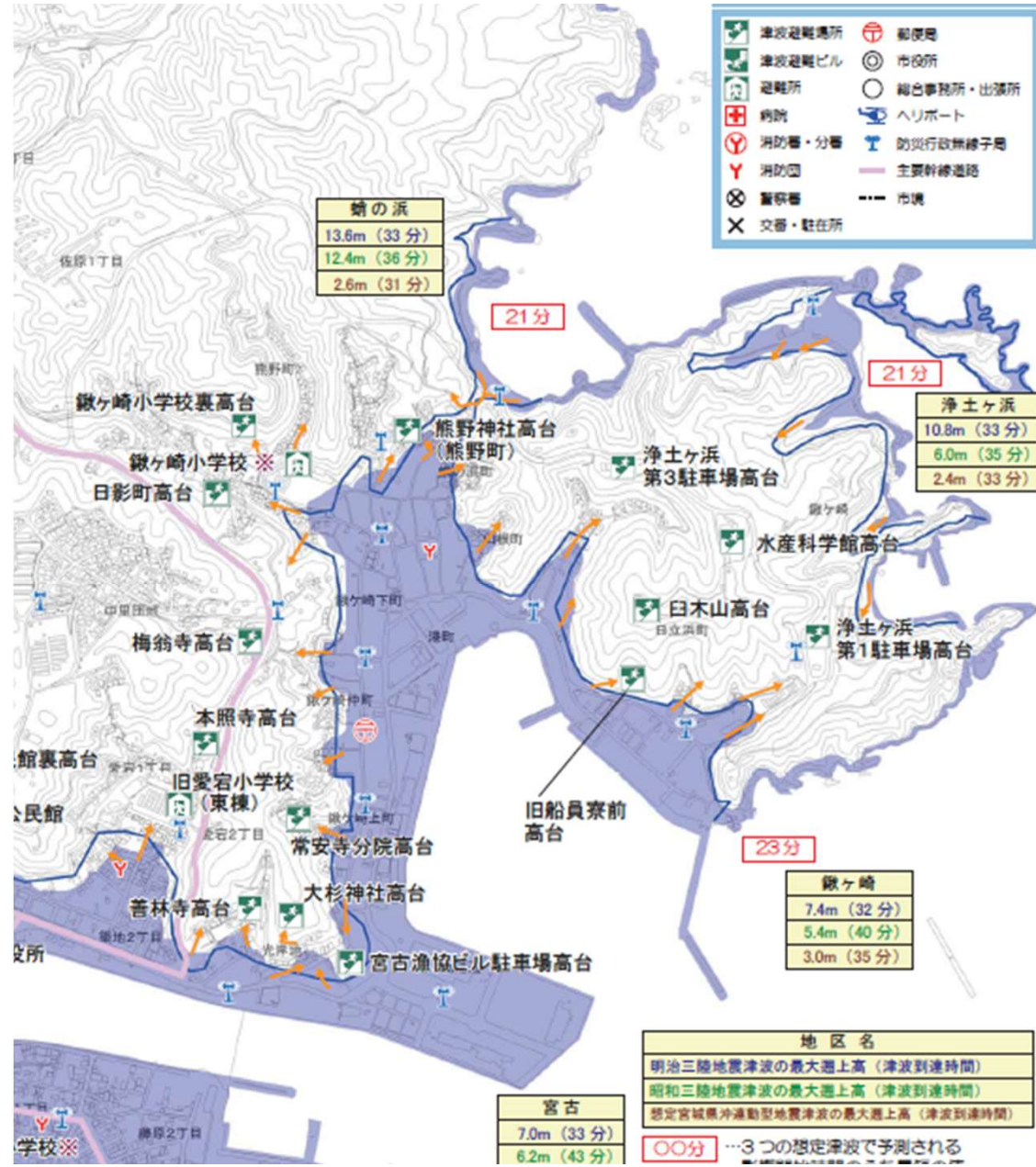


7 津波避難要領の変更（鍬ヶ崎地区、その他の地区）

- 現在のハザードマップ
- 避難場所、避難所の確認、一部見直し



現在のハザードマップ (鯨ヶ崎地区)

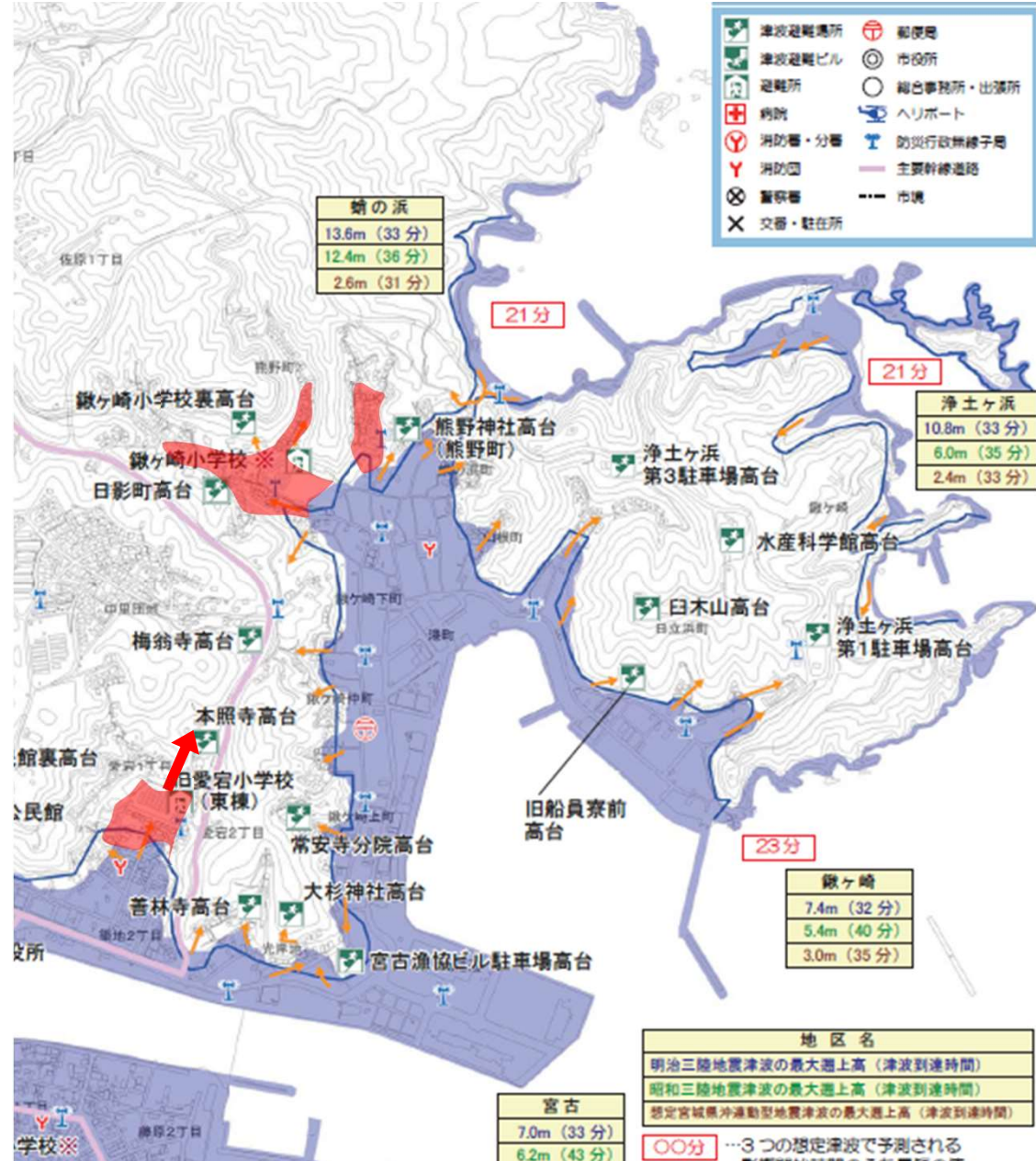


鍬ヶ崎地区では、
浸水域が広がります。
日影町、熊野町

避難場所の変更はありません。
引き続き、少しでも高いところへ避難して下さい。

愛宕地区では、
浸水域が広がります。
愛宕1丁目、二丁目

避難所、愛宕小学校（東棟）
は、津波警報後の開設とし、
本照寺高台まで避難して下さい。



津波

※注意
宮古小学校、鎌ヶ崎小学校、熊野小学校等は、津波が収まったのちに、状況に応じて閉校する可能性があります。

現在のハザードマップ (宮古市街地地区)



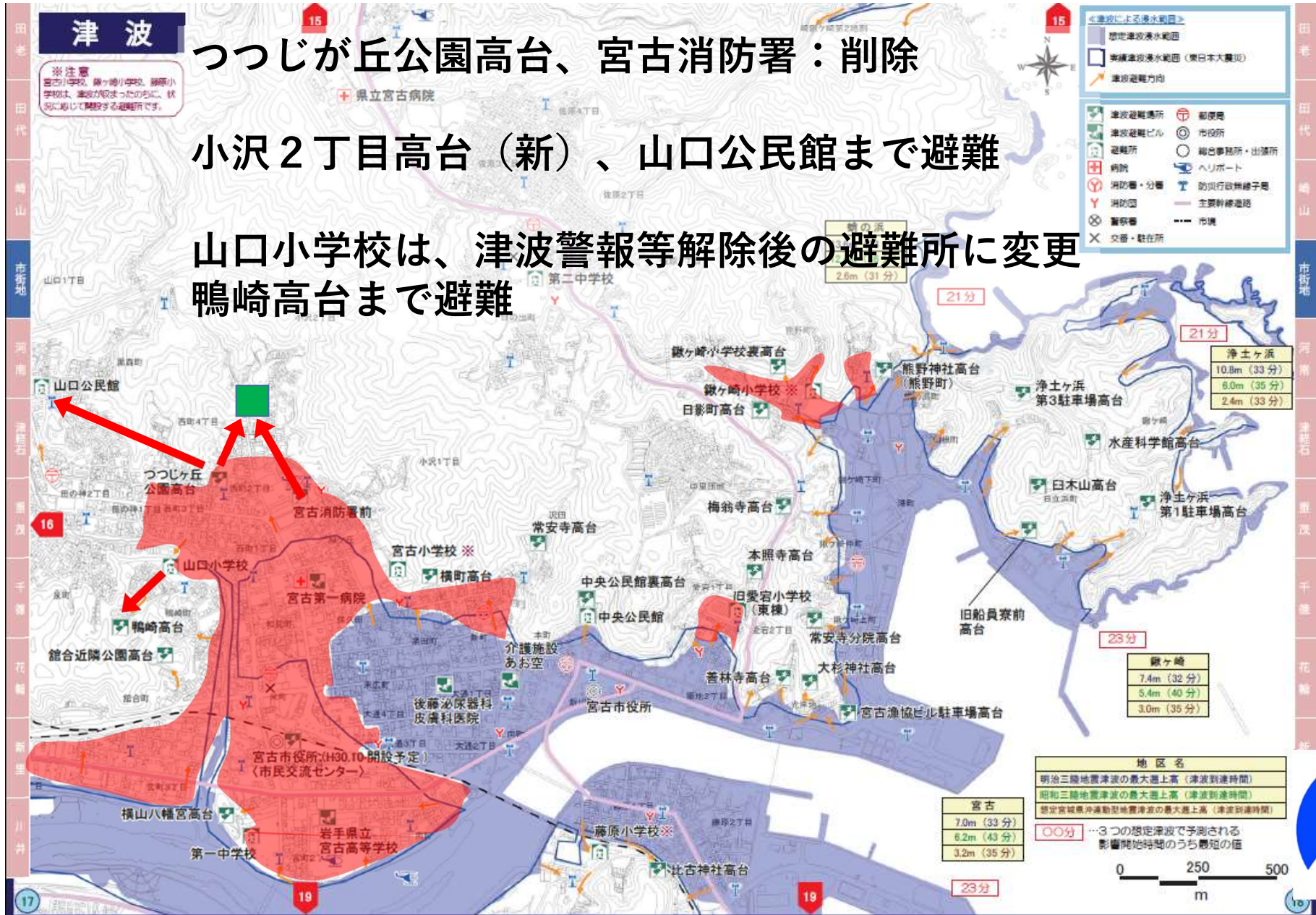
津波

※注意
 宮古小学校、鎌ヶ崎小学校、藤原小学校等は、津波が収まったのちに、状況に応じて開設する避難所です。

つつじが丘公園高台、宮古消防署：削除

小沢2丁目高台（新）、山口公民館まで避難

山口小学校は、津波警報等解除後の避難所に変更
 鴨崎高台まで避難



津波による浸水範囲

- 想定津波浸水範囲
- 実績津波浸水範囲（東日本大震災）
- 津波避難方向

津波避難場所

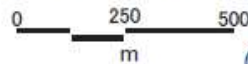
- 津波避難ビル
- 避難所
- 病院
- 消防署・分署
- 消防団
- 警察署
- 交番・駐在所
- 郵便局
- 市役所
- 総合事務所・出張所
- ヘリポート
- 防災行政無線継ぎ点
- 主要幹線道路
- 市境

浄土ヶ浜
10.8m (33分)
8.0m (35分)
2.4m (33分)

鎌ヶ崎
7.4m (32分)
5.4m (40分)
3.0m (35分)

宮古
7.0m (33分)
6.2m (43分)
3.2m (35分)

地区名
明治三陸地震津波の最大浸上高（津波到達時間）
昭和三陸地震津波の最大浸上高（津波到達時間）
想定宮城県沖運動型地震津波の最大浸上高（津波到達時間）



8 津波避難時の新型コロナウイルス感染症対策

津波警報等発令中

津波にのみ込まれて命を落とす確率



新型コロナウイルス感染症に感染し
命を落とす確率

※最優先

- マスク、除菌シートを非常持ち出し袋に入れて携行する。
- 避難行動時は、マスクをしない。
(迅速に避難場所に行くことを最優先に)
- 避難場所に着いたらマスクを着けて、人との間隔をとる。

◎ 11月1日の津波避難訓練で実践してみましよう。



9 今後の予定



令和2年11月1日 津波避難訓練

令和3年1～2月 暫定版ハザードマップを作成配布

令和3年3月11日 津波避難訓練

令和3年8月頃 岩手県が、津波浸水想定を公表

ハード対策、ソフト対策を総合的に検討、対策の実施

※令和3年度中に、宮古市総合ハザードマップ2022を作成配布

「（高台へ）避難さえすれば財産はともかく命は守ることができる。」